



児童会役員選挙運動



おわかれ会「かんぱーい!」



きらり支援学校との交流



下北手中交流「百人一首大会」で健闘!

無花果

No.182
令和2年3月10日発行
発行 秋田県立聴覚支援学校
秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

愛語は愛心よりおこる

校長 大沢 和 浩



私は、「ありがとう」「どうぞ」「ごめんなさい」...この三つの言葉がきちんと、しかも自然に言えるかどうか、コミュニケーションの基本であり、正しい言葉遣いの原点だと思っています。つまり、この三つの言葉こそ、人が社会生活をしていく上で最も多く使い、最も他人の心に関わる言葉だからであります。

このことは、江戸後期の歌人、良寛の言う「愛語」「愛心」の精神に通じています。良寛は「お話の基本は愛語」だとし、次のように教えています。「愛語は愛心よりおこる。愛心は慈心を種子とせり。愛語よく廻天のちからあることを学すべきなり。ただ能を賞するのみならず」「愛語は愛心よりおこる」といつている「愛心」とは、相手のためを思う心です。言わば、他人への思いやり、愛ということなのです。

以前、NHKが各界の人に対して「美しい日本語」をあげてほしいとのアンケートをとったところ、その上位を占める美しい日本語のベストファイブを発表しました。その結果が、①ありがとう ②さようなら ③はい ④ごめんなさい ⑤おはようございます です。これを見てもおわかりのように美しい日本語のベストファイブのほとんどが、あいさつ語だということですが、私はこの中で、ありがとう、ごめんなさい、の二つの言葉が人間教育の基本であると思っています。「ありがとう」は、世界中のどの国でも一番大切な言葉にしています。日本語は五万〜六万語ありますが、その中で美しい言葉、大切な言葉は「ありがとう」(感謝する心)ではないでしょうか。

今年も別れの季節がやってきました。卒業の喜びをお祝いする「祝賀会(祝う会)」は大事で尊重しなければなりません。これまで育ててくれた多くの人たちに「ありがとう」の感謝の気持ち、謝恩の心を大切にしたいと願っています。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの更なるご活躍を熱望しています。

寄宿舎から

毎日が行事のようです...
三浦 はつ子



夕食が終わると歯磨きを済ませて、ミーティングのため全員集合します。毎日必ずと言ってよいほど『クイズ大会』が始まります。ホワイトボードに誰かがクイズを書き、みんなが答えるお楽しみ!これは生活の中で自然に盛り上がりやっっていることです。また、ミーティングが終わると『ダンスタイム』も始まります。運動不足を解消するためのようですが、その日の気分でもテンションも上がります。みんなが心をひとつにして活動するということは、周りから見ても微笑ましく、そしてかっこよく...。寄宿舎生七人が力を合わせて『ワンチーム』となり、様々な行事に取り組み姿を楽しみにせずにはいられません。

PTAから

PTA研修会に参加して
高坂 富美子



石川美希さんの講演会は、楽しいお話であつという間の一時間で。石川さんはとてもかわいらしい素敵な方で、時間があればもっとお話を聞きたかったです。小さい頃、自分のことを「みきちちゃん」と絵日記に書いたたら、「私」と書くことがわかったこと。キティちゃんのジャマがかわいくて気に入って、学校に着て行ってしまったこと。(ジャマと服の違いは?)もしかして息子にもそのような疑問があるのかな?と思いました。耳の聞こえにくい先輩のお話を聞く機会があまりないので、貴重な時間でした。また是非来校していただきたいです。

北都銀行バドミントン教室

伊藤 蘭丸

毎年来てくれるバドミントンの皆さんと一緒に、練習や試合をしました。選手は、練習でもラリーのスピードが速くてびっくりしました。相手がスマッシュを打つても余裕で返して、すごいなと思いました。僕は、拓己さんとペアで選手と試合したとき、スマッシュを打たれ、速くて返せなかつたです。悔しかったですが、楽しかったです。



いっぱいあそんだよ!

佐藤 操

乳幼児教室では今年度も年五回、土曜日に合同保育を行いました。毎回四〜五家族ほどが集まり、歌遊びや手遊び、音遊び、制作活動、季節の行事などを楽しみました。子どもたちが元氣いっぱい活動する姿は微笑ましく、保護者同士でも子どもたちの成長を喜び合っておられました。今後も継続していきたいと考えています。



曲に合わせていちいちに!



ボールで遊んだよ

お知らせ

日頃よりベルマーク収集活動への協力ありがとうございます。今年度も引き続き活動中ですので、ご提出の際は担任または収集ボックスへお願いします。
※ベルマークを切り取る際は番号や点数がわかるよう、余裕を持って切ってください。



編集後記

今年度は記録的な暖冬となり、春もすぐそこまでやってきました。卒業生、修了生のみならず、おめでどうございます。新しい生活への期待と希望を胸に、一歩一歩自信をもって進んでいってください。応援しています。来年度も、本校へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ニュース・トピックス

- ◎令和元年度 学校賞 体育賞 中学部三年 長門 里紗
- ◎全国聾学校体育賞 中学部三年 長門 里紗
- ◎第七十六回 秋田・南秋地区高校美術連盟展 デザイン部門 高等部一年 安田 修利
- ◎第十一回 秋田工芸展 入選 高等部二年 鈴木 里枝 高等部三年 小川 優士 木竹冬がまへ「再生」(共同制作)



安田修利 [INSIDE HEAD]



幼稚園

なかよし2人組

幼稚園ゆり組担任

佐藤 悦子
鈴木 みるみ

うめ組の頃は、ママと離れるのもちよっぴりさみしかった二人でしたが、三年間で心も体もぐんぐんたくましく成長し、すっかりお兄さん、お姉さんらしくなりました。二人は会える日は少なかったけれど、一緒に遊んだり、ふざけて大笑いしたり、ときにはけんかしたりしながら、幼稚園の大切な友達として、友情を育んできましたね。これからも、元氣いっぱい、笑顔いっぱい二人を応援しています。



なかよし2人組

中学部

「陶冶」に込めた思い

中学部三年担任 鷲谷 和

いつかの「無花果」の巻頭言で松井教頭が中三学級目標「陶冶」について述べていました。競争が苦手な子どもが増え、競争することを避ける昨今、自分を磨き、よりよい自分でありたい、そんな生き方あり方であってほしいと願う掲げた言葉。中学部を卒業しても陶冶の時期は続きます。これからの更なる成長に期待します。

◇佐々木 岳志

学習発表会では、中学部の力を合わせて太鼓を叩きました。一層絆が深まったと思います。すばらしい思い出ができました。



4月…新年度スタート

◆秦 結末

学習発表会で難しい太鼓のリズムを全員で発表したことが印象に残っています。本番で息が合った瞬間はとても気持ちよかったです。

◇長門 里紗

二年生の時、東響体の卓球女子個人で優勝でき、とてもうれしかったです。高等部では、全国大会に出て活躍できるように、もっと練習をがんばります。

◇畠山 陽稀

学習発表会では、練習の時、みんなでリズムを合わせるのが難しかったです。けれど、本番では息を合わせて演奏できました。がんばればできると感じました。

◇藤原 心華

修学旅行で初めて東京に行きました。東京と秋田の違いを知り、改めて秋田のよさを感じる良い機会になりました。今度は一人で行ってみたいです。

高等部

前途有望

高等部三年担任 鈴木 暁子

この三年間、楽しいことやうれしいこと、ときには辛くて苦しいこともありましたね。入学当初に比べ、相手の気持ちや立場になって物事を考えられ

中学部

スケート教室

中野 あかね

十二月二十日(金)と二月三十一日(金)に秋田県立スケート場で「スケート教室」を行いました。スケート協会の指導員の方から、基本的な立ち方や転び方を始め、カーブや後ろ向き等少し難しい滑り方まで丁寧に教えていただきました。生徒たちは、初めは緊張しながら滑っていましたが、徐々に体が慣れ、様々な滑り方に挑戦できました。

スケート教室の後、「上手にバックを滑ることができて良かったです。」

「来年も楽しく滑りたいです。」「休日もスケート場に行ってみようと思います。」という感想が聞かれました。冬のスポーツの楽しさや体を動かす心地よさを味わえるとても良い時間になりました。



るようになってきたこと、反省を次に生かそうと努力する姿に、心の成長を感じています。卒業後もたくさんのごことを吸収し、なりたい自分に近づけることを願っています。

◇小川 優士

先輩や後輩、先生方や家族など、振り返るとたくさんの方に支えていただいた三年間でした。この感謝の気持ちと学校生活で学んだことを忘れず、四月からは社会人として頑張ります。今まで大変お世話になりました。



祝 卒業!

卒業生・修了生一覧

【幼稚園修了】	佐藤 流星
【中学部卒業】	相馬 美惺
	佐々木 岳志
	秦 結末
	長門 里紗
	畠山 陽稀
	藤原 心華
【高等部卒業】	小川 優士
産業技術科	

高等部

きらり高等部との交流

刈田 尚子

毎年実施しているきらり支援学校高等部との交流では、パラリンピックの種目でもあるボッチャを行っていました。今回の交流では、ボッチャの他に、簡単な手話を教えてほしいという要望もあり、朝学習の時間を活用し、準備を進めました。

交流当日は、四グループに分かれ、手話を教えたり、クイズをしたりしてからボッチャの試合に臨みました。どのグループも、会話を楽しみながら白熱した試合を展開していました。同じ屋根の下で学ぶ同年代の人たちとの交流は、この先も続けていきたい大事な活動と考えています。



学部の行事コーナー

幼稚園部

みんなで豆まき

佐藤 悦子

「キャー。」悲鳴にも似た声がホールに響き渡ります。幼稚園に鬼がきたのです。

自分の中にいる「ダメな子鬼」を発し、退治するために何回も豆まきの練習をしました。歌だつて完璧に覚えしました。鬼なんてへっちゃら!のはずでした。

しかしリアルな鬼の登場に足がすくみ、豆も握ったまま。怖くて涙が出ます。それでもハツと我に返り必死で豆を投げました。捕まらないように逃げました。連れていかれそうになった友達をみんなで助けました。最後は声を合わせて「おにはーそと!」鬼はすっかり弱くなって逃げて行ってしまいました。

もう大丈夫。「ダメな子鬼」はどこにもいません。子どもたちが強い気持ちで厄や邪気を追い払ったので、幼稚園のみんなは今年も元気に過ごせそうです。



小学部

ことばあそびタイム

伊藤 夏美

一月二十三日に行つた『ことばあそびタイム』では、「おつかいに行こう」というテーマのもと、みんなで買い物に出かけました。「補食を二種類」や「冷たくて白い飲み物」、「写真と同じ物を探して」などそれぞれに渡された手紙には違った課題が書かれていました。一年生は手紙の写真と見比べながら依頼された物を探したり、一人で支払いをしたりすることができました。二年生は自分の力で手紙を読んだり、手紙で指示された物を「これかな?」「これは違う。」「これだ!」「何度か確認しながら探したりすることができました。五年生は言葉の意味を確認したり、「大きい方がいいかな。」「味はこっちにしよう。」「自分なりに考えたりしながら選ぶことができました。様々な言葉に触れ、新たな経験を積んだ『ことばあそびタイム』となりました。



中学部

スケート教室

中野 あかね

十二月二十日(金)と二月三十一日(金)に秋田県立スケート場で「スケート教室」を行いました。スケート協会の指導員の方から、基本的な立ち方や転び方を始め、カーブや後ろ向き等少し難しい滑り方まで丁寧に教えていただきました。生徒たちは、初めは緊張しながら滑っていましたが、徐々に体が慣れ、様々な滑り方に挑戦できました。

スケート教室の後、「上手にバックを滑ることができて良かったです。」

「来年も楽しく滑りたいです。」「休日もスケート場に行ってみようと思います。」という感想が聞かれました。冬のスポーツの楽しさや体を動かす心地よさを味わえるとても良い時間になりました。

